

# 第164期 報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

# Business Report



株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度当社は令和6年3月31日をもちまして、第164期(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)を終了いたしました。ここに、当社グループの現況などにつきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月

取締役社長 三瓶 悦男



### ▶ 営業の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が本格的に進み、緩やかな回復が続きました。

世界経済は、欧米を中心にグローバルインフレの抑制対策としての金融引き締めによる政策金利の引き上げの継続と中国における不動産部門の住宅在庫調整の長期化や、長期化するウクライナ情勢と緊迫感が急激に高まっている中東情勢等の地政学的リスクの影響などにより、景気の減速感が強まりました。

国内経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に引き下げられたことで、ペントアップ需要によるサービス消費や訪日観光客によるインバウンド需要の回復が続き、高水準の企業収益に支えられた設備投資の増加等により、緩やかな回復傾向が続きました。年度後半では、政府の物価高政策の効果が寄与したものの、原油価格上昇と円安進展等を受けた価格転嫁の広がりに加え、賃上げを受けたサービス物価上昇により個人消費が伸び悩み、欧米を中心とした世界経済の減速が重石となり、景気回復は足踏みしました。

この間、当社グループの関連する紙・板紙の国内出荷は前年を下回りました。特に新聞用紙や印刷・情報用紙

に代表されるグラフィック用紙の需要は減少傾向が続いております。また、紙器用板紙や段ボール原紙、包装用紙等のパッケージ関連分野は、インバウンド需要の回復がありましたが、物価高騰に伴う個人消費の低迷等により需要が弱まり、前年を下回りました。

このような状況下、国内製紙各社は、グラフィック用紙の需要減少に対して、生産体制の再編成等による国内事業の構造転換を推進するとともに、海外市場への展開とエネルギー事業・新素材事業等の新分野への取り組みを強化しております。

紙パ関連業界を品種別にみますと、印刷用紙は、デジタル化による需要の減少が一層進行し、国内出荷は前年を下回りました。情報用紙は、コロナ禍におけるテレワーク等の勤務形態の変化からペーパーレス化が進行し、オフィス向けPPC用紙の需要減少が続き前年を下回りました。段ボール原紙は、通販向けは堅調に推移したものの、生活用品向けへの物価高に伴う消費抑制の影響と天候不順による青果物向けの伸び悩みにより前年を下回りました。紙器用板紙は、社会経済活動の再開により旅行や外食関連等の需要回復がみられたものの、幅広い品目での値上げの影響により、前年を下回りました。また、化成

経営理念

## SPPは革新と挑戦の情熱を持って 時代の変化に対応し社会とともに成長します。

経営方針

- 1 環境に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会づくりへの責任を果たし続けます。
- 2 「支持され」「必要とされ」「選ばれる」会社として成長し続けます。
- 3 「紙」から広がる木質系天然素材の無限の可能性を追求し続けます。
- 4 一人ひとりが志を高く持ち、プロ集団として力を発揮し続けます。

品は、食料品や日用品等の相次ぐ値上げによる買い控え等の影響を受け、需要の低迷が続きました。

当社グループにおきましては、印刷用紙・特殊紙・情報用紙・パッケージング用紙・化成品の5分野の連携を強化し、社会環境の変化と構造的な需要の減少に対応すべく、率先して市場開拓・商材開発を推進し、企業価値の持続的な拡大と事業の生産性の向上に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高249,050百万円(前期比0.2%増)、経常利益6,085百万円(同1.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,172百万円(同0.4%減)となりました。

### ◆今後の取り組みについて

紙パルプ産業は、紙の構造的な要因による減少と物価高による需要の低迷に加え、原燃料価格の高止まりや円安の進展等、経営環境が大きく変化しました。このような環境下において、国内製紙各社は、安定供給の確保に向けて、自助努力によるコスト削減や生産体制の再構築等により紙・板紙関連事業の収益を確保するとともに、生活関連分野や資源・環境関連事業並びに海外事業や新規事業への事業構造の転換を推進しております。

このような環境下、2022年度よりスタートした第6次中期3ヶ年計画「Growth 2024」—SPPグループ総合力の発揮による市場開拓と用途・商材開発への挑戦—に基づき、コロナ禍からの社会経済活動再開による新たな需要に対応し、持続的な成長を支える商材の開発・提案に取り組んでまいります。また、グループ経営資源の活用により市場動向に応じた事業分野別戦略のもと事業拡大を推進し、企業価値の向上を目指してまいります。

一方、環境問題が社会的課題として掲げられるなかで、企業活動における環境負荷低減への取り組みと、「紙」「板紙」「フィルム」の横断的な環境対策商材を提供することにより、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

### ◆株主の皆さまへ

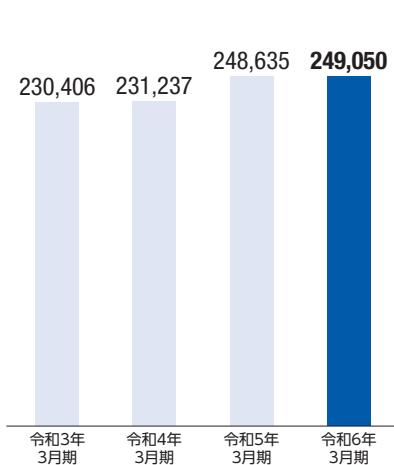
剰余金の配当につきましては、企業価値の最大化を念頭に、健全な財務体質の維持及び積極的な事業展開に備えるための内部留保を勘案しつつ、単年度の業績に左右されない安定した配当を継続する方針であります。

このような方針に基づき、当事業年度の配当につきましては、1株当たり10.5円(うち中間配当5円)の配当を実施することに決定しました。

# 連結財務ハイライト

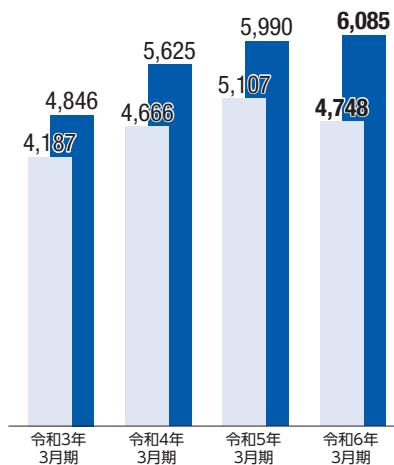
## 売上高

(単位：百万円)



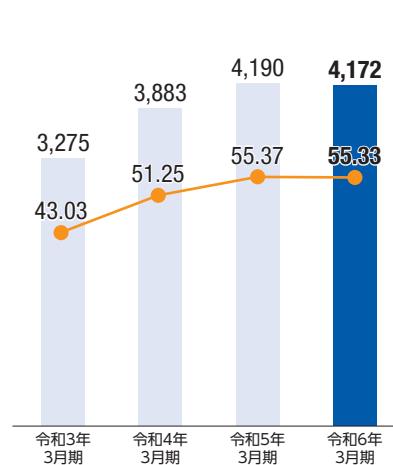
## 営業利益・経常利益

■ 営業利益 ■ 経常利益 (単位：百万円)



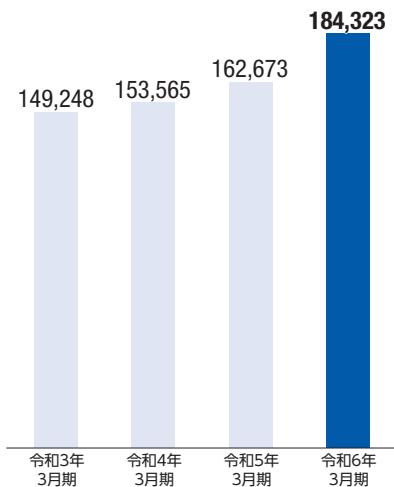
## 親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益

◆ 1株当たり当期純利益 (単位：百万円・円)



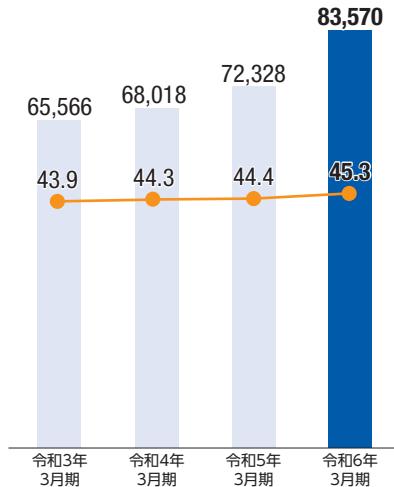
## 総資産

(単位：百万円)



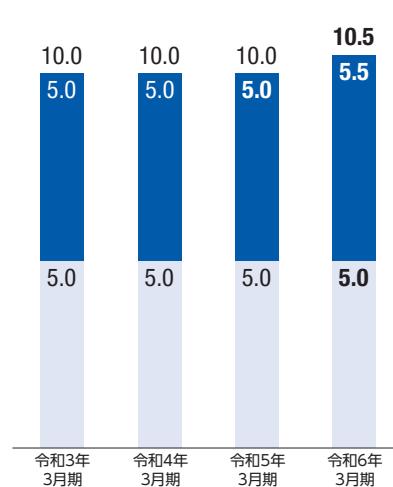
## 純資産・自己資本比率

◆ 自己資本比率 (単位：百万円・%)



## 1株当たり配当金

■ 中間 ■ 期末 (単位：円)



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		令和6年3月31日現在	令和5年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産		118,537	108,290
現金及び預金		8,702	4,089
受取手形及び売掛金		93,899	87,872
その他		15,934	16,328
固定資産		65,786	54,383
有形固定資産		22,069	22,525
無形固定資産		777	667
投資その他の資産		42,939	31,190
資産合計		184,323	162,673
<b>負債及び純資産の部</b>			
流動負債		90,219	81,732
支払手形及び買掛金		83,364	74,450
短期借入金		2,873	3,915
その他		3,982	3,365
固定負債		10,532	8,613
負債合計		100,752	90,345
株主資本		67,258	63,982
資本金		3,228	3,228
資本剰余金		1,873	1,873
利益剰余金		63,962	60,545
自己株式		△1,805	△1,664
その他の包括利益累計額		16,250	8,293
非支配株主持分		61	52
純資産合計		83,570	72,328
負債及び純資産合計		184,323	162,673

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日	自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日
売上高		249,050	248,635
売上原価		233,488	232,928
売上総利益		15,562	15,706
販売費及び一般管理費		10,814	10,599
営業利益		4,748	5,107
営業外収益		1,477	1,022
営業外費用		140	140
経常利益		6,085	5,990
特別利益		10	18
特別損失		27	81
税金等調整前当期純利益		6,068	5,927
法人税、住民税及び事業税		2,091	1,786
法人税等調整額		△204	△50
当期純利益		4,180	4,190
非支配株主に帰属する当期純利益		8	0
親会社株主に帰属する当期純利益		4,172	4,190

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

## SEGMENT INFORMATION

# セグメント別の概況

当社グループは、当社及び連結子会社12社で構成され、次の3事業を  
主な内容として、事業活動をしております。

各事業の概要及び当期の業績は次のとおりであります。

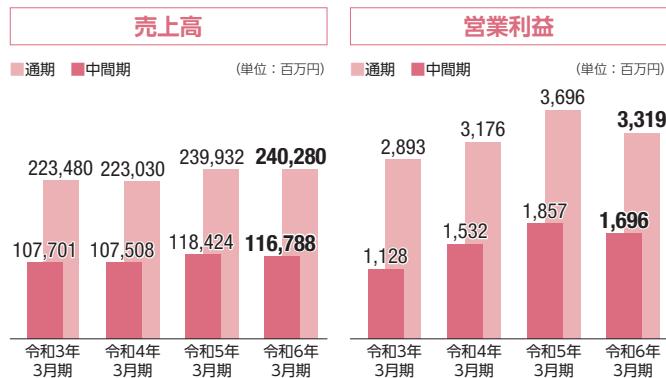
### 紙・板紙・化成品等卸売関連事業

**売上高** 240,280百万円 **営業利益** 3,319百万円

紙・板紙・化成品等卸売関連事業におきましては、国内向けは、印刷用紙の需要減少が継続し、紙の販売数量は前年を下回りました。板紙は、物価高騰による需要の落ち込みの影響を受け、販売数量は前年を下回りました。売上高は紙・板紙ともに、前年度実施した各品種の価格修正により増加しました。化成品は、物価上昇による食料品等の買い控えの影響により、包装用フィルムの出荷が低調に推移し、売上高は減少しました。

海外向けは、海上輸送のコンテナ不足解消に伴う一時的な在庫の増加により調整局面を迎え販売数量が減少しましたが、年度後半には持ち直しの動きがみえました。また、円安の進展はあったものの、海上運賃の下落と販売品種構成比の変化により販売価格が下がり、売上高は減少しました。

この結果、紙・板紙・化成品等卸売関連事業の売上高は240,280百万円、営業利益は3,319百万円となりました。



## 紙加工等関連事業

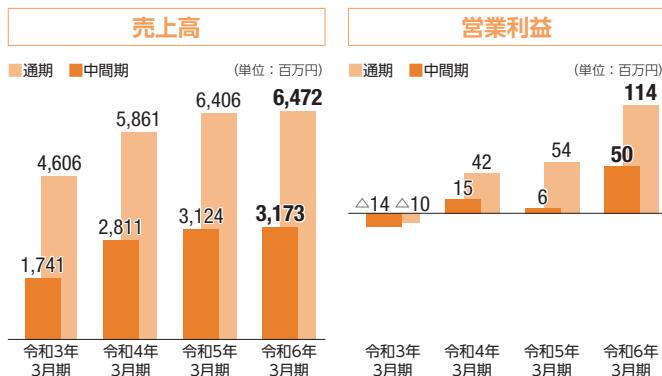
売上高 **6,472**百万円

営業利益 **114**百万円

紙加工等関連事業におきましては、前年度実施した価格修正の効果と段ボール製造子会社の販売が堅調に推移したことにより、売上高は増加しました。

利益面では原材料等が高騰する中、経営効率を高め経費増加の抑制に努めました。

この結果、紙加工等関連事業の売上高は6,472百万円、営業利益は114百万円となりました。



## 不動産賃貸関連事業

売上高 **2,270**百万円

営業利益 **1,301**百万円

不動産賃貸関連事業におきましては、所有不動産の有効活用として、賃貸不動産の入替えに伴う収入の増加はあったものの、既存テナントの解約等により賃貸料収入は前期並みとなりました。

一方、新規物件の取得に係る諸費用等により経費は増加しました。

この結果、不動産賃貸関連事業の売上高は2,270百万円、営業利益は1,301百万円となりました。

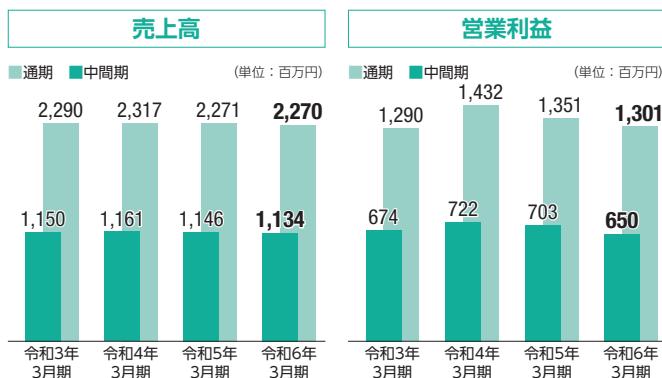
主な所有不動産



SPP銀座ビル  
東京都  
中央区銀座



森ノ宮中央レジデンス  
大阪府  
大阪市



# 関係会社のご案内

## 株式会社興栄

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町884番地  
TEL : 045-542-7771 FAX : 045-542-7775 <http://www.koeyokohama.co.jp>

株式会社興栄は段ボールシート・ケースを一貫して製造販売をしています。設立は昭和42年4月、工場の1階にシート貼合部門、2階にケース製造部門を配備し、一貫メーカーとして短納期・即配送の体制を実現しています。さらに令和元年にはFSC認証を取得し、森林保全の支援活動や地球環境保全への貢献も積極的に取り組んでいます。

(主な取扱商品)

段ボールシート、段ボールケース、その他包装材料

本社工場・事務所



コルゲートマシン (貼合設備)



プリスロフォルダークラア (製函設備)



商品紹介



サステナブルな梱包資材

近年、オンラインショッピングの普及により、小さいサイズの商品の梱包に適した小型段ボールケースの需要が高まってきています。

当社はこの小型段ボールケースの製造を得意としており、過剰な梱包資材を使用しない、環境にやさしいサステナブルな梱包資材を提案しています。

# 株式会社タイボー

本社：〒503-0403 岐阜県海津市南濃町志津1951-30  
TEL：0584-57-2270 FAX：0584-57-2272

本社・岐阜工場



和歌山工場



関係会社：タイボープロダクツ(株)



資源循環のため、マテリアルリサイクルを追求し、提案していくことで地球環境を保全しつつ、社会に貢献してまいります。

## 再生原料化事業

- 粉碎：中間処理設備を強みに、各製造メーカーから排出される廃棄資材を粉碎し、リサイクル原料化
- 分離：独自の分離設備によって複合物をメカニカルに分離し、細かくリサイクル原料化
- 造粒コンパウンド：リサイクルペレット化、自社ノウハウでのリサイクル原料のコンパウンド化
- 販売：製造リサイクル原料を各製造メーカーへ販売  
※コンパウンド・・・混ぜ合わせる

## 成形製品事業（再生原料使用）

- 製造販売：リサイクル原料を使用した成形製品の製造販売

## 商社的、その他事業

- 商社機能：リサイクル業界でのブランドを強みとした製品販売
- 環境性能提供：再生資源の回収からリサイクル原材料化、成形製品化とワンストップリサイクルフローの提案
- その他：成形品設計および金型作成、設備等リサイクル事業関係を担う

## <リサイクル製品例>

リサイクル成形品



リサイクル原料



リサイクルペレット



# 障がい者支援活動

## Paralym Art

パラリンアートとは、一般社団法人障がい者自立推進機構が実施する障がい者の芸術的表現を通じて、彼らの社会参加と経済的自立を推進する活動です。

「一人でも多くの障がい者に社会参加のきっかけとビジネスチャンスを届けること」が目的であり、それを達成することで「障がい者と健常者の垣根をなくすこと」が最終的なゴールとなります。

当社は、パラリンアートを使ったCSR連動型PR活動として「紙+付加価値」の最大化を図り、総合代理店として各企業の架け橋となり、社会貢献活動の一環として、パラリンアートを全国に広めていこうと考えています。今後も障がい者の社会参加と経済的自立を推進していきます。



ハヤシ商事株式会社様で採用された、  
パラリンアートコラボレーションティッシュ

当社が支援するパラリンアートの取り組みのひとつ「パラリンアート世界大会2023」をご紹介します。

本アートコンテストは「障がい者がアートで夢をかなえる世界を作る」という理念を掲げる、一般社団法人障がい者自立推進機構が「世界中の障がいのある方が芸術的才能を披露する、障がい者アートのワールドカップ」と称し2018年から開催され、今回6回目を迎えました。「旅(journey)」をテーマにした本大会には日本と世界の23の国と地域から、合計488点の作品が集まり、10賞15作品が決定しました。

なお、パラリンアート世界大会2023の受賞作品は下記URLよりご覧いただけます。

<https://paralymart-wc.com/2023/>



パラリンアート世界大会2023グランプリ作品  
pombobarcelona (Spain) さん[A week journey in my world]

## 会社情報

商号	新生紙パルプ商事株式会社 SHINSEI PULP & PAPER COMPANY LIMITED
本社及び本店	東京都千代田区神田錦町1丁目8番地
創業	明治22年(1889年)11月3日
設立	大正7年(1918年)3月14日
資本金	32億2,800万円
営業品目	紙・パルプ・化成品・紙加工品・建材・機械・機器等
従業員	533名

## 役員

(令和6年6月19日現在)

代表取締役社長	三瓶 悦男	取締役	上田 淳史
取締役専務執行役員	鳥羽 登	監査役	井上 眞樹夫
取締役常務執行役員	重田 栄治	監査役	森田 好則
取締役常務執行役員	上羽 昌雄	監査役	佐藤 誠一
取締役上席執行役員	栗原 光晴	監査役	清水 貴雄

(注) 取締役 上田淳史氏は社外取締役であります。  
監査役 佐藤誠一、清水貴雄の両氏は社外監査役であります。

## 事務所所在地

本社	〒101-8451
東京本店	東京都千代田区神田錦町1丁目8番地 TEL (03) 3259-5080 (代表) FAX (03) 3233-0991
大阪支店	〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目16番10号 TEL (06) 6262-8800 (代表) FAX (06) 6261-2916
名古屋支店	〒450-0003 名古屋市市中村区名駅南2丁目9番18号 TEL (052) 584-6200 (代表) FAX (052) 584-6306

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	80,000,000株
株主数	993名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	8,605	11.4
北越コーポレーション株式会社	8,530	11.3
特種東海製紙株式会社	3,913	5.2
王子ホールディングス株式会社	3,286	4.4
昭和パックス株式会社	2,613	3.5
株式会社サンエー化研	2,613	3.5
新生紙パルプ商事従業員持株会	2,452	3.3
北越パッケージ株式会社	2,040	2.7
中越パルプ工業株式会社	1,940	2.6
公益財団法人睦育英会	1,300	1.7

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示しております。  
2.持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

九州支店	〒812-0025 福岡市博多区店屋町4番12号 TEL (092) 271-2800 (代表) FAX (092) 271-2810
札幌支店	〒060-0063 札幌市中央区南三条西10丁目1001番地5 TEL (011) 241-2106 (代表) FAX (011) 241-6110
仙台支店	〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目10番1号 TEL (022) 235-6878 (代表) FAX (022) 236-1573
富山支店	〒930-0019 富山市弥生町1丁目10番11号 TEL (076) 441-2866 (代表) FAX (076) 431-5839

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

### 単元未満株式買取請求及び買増請求

単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記株主名簿管理人において受付けております。なお、買増請求につきましては3月31日及び9月30日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間お取り扱いを停止いたします。その他、会社が定める一定期間買増請求のお取り扱いを停止する場合がございます。

### 株券喪失登録

株券を喪失された方は、上記株主名簿管理人において株券喪失登録の手続きを行うことができます。株券喪失登録を行いますと、株券喪失登録簿に喪失株券の記号番号等が登録されて閲覧に供され、1年間登録異議もしくは喪失登録の抹消がなければ、当該株券は失効し、新しい株券の交付を受けることができます。

## 当社WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや取り扱い商品の紹介等、当社をご理解いただくための様々な情報、また紙に関する豆知識などをご提供しています。是非ご覧ください。



<https://www.sppcl.co.jp>

新生紙パルプ商事

検索



## 新生紙パルプ商事株式会社

東京都千代田区神田錦町1丁目8番地

TEL : 03-3259-5080 FAX : 03-3233-0991



この冊子は環境保全のため、植物油インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。